

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：「自動車の自動運転の推進と社会的課題について—移動の本能と新しい社会のデザイナー」
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
 - ・後援：内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）、文部科学省
 - ・協賛：ITS Japan、うつ病学会、応用哲学会、科学基礎論学会、科学哲学会、計測自動制御学会、研究・イノベーション学会、サービス学会、システム情報制御学会、自動車技術会、情報処理学会、神経精神薬理学会、人工知能学会、生物学的精神医学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本グループ・ダイナミックス学会、日本機械学会、日本社会心理学会、日本心理学会、日本船舶海洋工学会、認知症の人と家族の会
- 3 開催日時：令和元年9月16日（月・祝） 10時00分～17時00分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

未来投資会議やIT国家戦略などに沿って、政府をあげて自動運転に係わる研究開発や制度設計の取り組みがなされおり、産業界や地方自治体から熱い視線が注がれている。広く学術に関心を持つ方たちと、人類の移動の本能という観点を交えながら、社会制度や市民生活の係わり方や社会受容性について広く議論する。
- 6 参加人数：

講演者等：18名
その他の参加者：157名
- 7 特記事項：

まずは、本学術フォーラムの内容を、「学術の動向」の特集企画とするための準備を進めている。さらに、本学術フォーラムで特に議論になった事項について、委員会内にてメール審議等を継続している。これらの継続審議も反映させた「提言」を表出する予定である。